どま工房からのお知らせ

オケクラフト 40 周年記念事業 特別展
第 32 集 日本の手仕事道具 - 秋岡コレクション 企画展

【オケクラフトの成分表 - ヒト＋モノ▶▶コト -】

【展示概要】
1983 年に誕生してから今年、40 周年を迎えるオケクラフト。単なる「クラフト」ではなく、「オケクラフト」であるための様々な構成要素とは何か。生みの親である「秋岡芳夫」、育ての親である「時松辰夫」両氏との関係や、秋岡コレクションとの関係などから、忘れてはならないその要素について考えてみたいと思います。

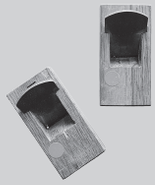
※ご来館される皆さまのマスクの着用、手指消毒については任意とさせていただきます。

【会期】**令和５年１０月６日（金）～１１月１９日（日）**
月・火休館（祝日 10/9・11/3 開館）
【時間】**１０：００～１６：００**
【会場】**どま工房**

企画展 関連企画

モノづくりワークショップ
「身度尺の実践　自分サイズの箸を作ろう」

【内容】様々な樹種から材料を選び、好みの形、自分サイズに仕上げる箸づくりのワークショップ。
【日程】**①１０月２１日（土）**
②１０月２２日（日）
③１１月　４日（土）
④１１月　５日（日）



【時間】**１３：００～１６：００**
【場所】**どま工房**
【定員】**各回５名**
【講師】那珂 琴絵（どま工房主任研究員）
【参加費】**７００円**（当日持参）
【対象年齢】**１３歳以上**
【参加受付】**１０月４日（水）～１０月１５日（日）**
※森林工芸館 (52-3170) までご連絡ください。
※受付の際に希望する日にちをお伝えください。

【農作業具 －作業に合わせた鎌の形状－】

鎌や鍬、田下駄や千歯扱きなど農作業全般に用いられる道具類を総称し「農具」といわれる。それらは田畑を耕すことから始まり、作物の栽培に脱穀作業、農産物の加工や養畜・養蚕など広範囲に使用される。最初はただの木の棒だった農具も、時代を経て木製から石製へ、石製から鉄製へと変化を遂げていった。これらの農具の発達には、農業の形態や、自然条件、民族の風習などが関係し、また農業が人力か畜力かによっても違いが生まれる。

人力での農業が進んだ日本では、農具もいかに効率よく人の力が生かされるかが重要とされてきた。力がかかりやすい角度や使いやすい長さ、刃や柄の形状などが工夫され、生活で生まれた知恵として現在においても受け継がれている。

今回は、数多くある「農具」の中から、様々な用途で使用され、その場面によって形状が変化してきた「鎌」を取り上げる。

※ 今日は何を知ろうか ※

【枝払鎌】
枝払いに使用される鎌。主として厚鎌が使用される。

【下草刈鎌】
造林木の成長を妨げる雑草林を刈り取る際に使用される鎌。

【稲刈鎌】
稲を刈る際に使用される鎌で刃が鋸状になっている。鋸鎌などとも呼ばれる。

【桑切鎌】
桑園作業で使用される鎌。

ふかよみコレクション

今月の一品

かくれた一品　おすすめの一品
毎日　オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！

商品名：「鳥の箸置き」「小鳥の箸置き」
価　格：770 円（税込）
樹　種：エゾマツ、クルミ、タモほか

私の今月の一品は、【アトリエもくれん】の『小鳥の箸置き』です。箸は『小鳥』の背中に置くとキチンと収まり、上に上がった尾羽のおかげで転がりません。形が可愛いだけではなく、ちゃんと箸置きとしての仕事もこなします。

樹種はエゾマツの他にも六種類あり、木目の出方によって鳥の羽のように見えるのは、素材が木ならではの楽しさではないでしょうか。

『小鳥』の他に一回り大きな『鳥の箸置き』もあり、並べると親子のように見えます。

ショップ販売員
青島

毎月 1日発行 森林工芸館発行

森林工芸館のあれこれ

こちらのＱＲコードから「森林工芸館のあれこれ」バックナンバーをご覧いただけます。

オケクラフト４０周年記念事業

オケクラフト４０周年

記念講演会

講題：「地域産品・伝統工芸を強くするデザインとブランディング」

１９８３（昭和５８）年にオケクラフトが誕生して４０年、
これからのオケクラフトを考える機会として記念講演会を開催します。
多くの方々の参加をお待ちしています。

日 時 ： 令和５年１０月２０日（金） 午後６時３０分～午後８時
場 所 ： 置戸町中央公民館　講堂
講 師 ： 下 川　一 哉 氏（デザインプロデューサー／エディター・意と匠研究所代表取締役）
杉 江　あ こ 氏（エディター／ライター・意と匠研究所取締役）

【講師プロフィール】下川 一哉 氏
1963 年、佐賀県生まれ。1985 年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年、日経マグロウヒル（現・日経 BP 社）入社。『日経イベント』編集、『日経ストアデザイン』編集などを経て、1994 年に『日経デザイン』編集に配属。2008 年より編集長。2014 年 3 月 31 日に日経 BP 社を退社。4 月に意と匠研究所設立。2017 年度から佐賀大学芸術地域デザイン学部非常勤講師。2020 年から クラウドファンディング「異彩琺瑯のジャパンクラフト」（米国ショッピング・日本琺瑯新開社）主宰。

【講師プロフィール】杉江 あこ 氏
1973 年、愛知県生まれ。1995 年、大阪芸術大学卒業。現在、関西を拠点にフリーランス・ライターとして活動。2001 年 12 月に上京。デザイン、アート、文芸、食、自然環境など各専門に雑誌、書籍、ウェブマガジン等の編集・執筆に携わる。2008 年～2009 年、『日経デザイン』（日経 BP 社）編集に携わる。2014 年 4 月、意と匠研究所を下川一哉と共に設立。2016 年度～2021 年度、東京造形大学造形学部デザイン学科グラフィックデザイン専攻領域非常勤講師。

主催／オケクラフト４０周年記念事業実行委員会　後援／置戸町教育委員会・置戸町中央公民館

▶▶お知らせ
オケクラフト 40 周年記念講演会
『地域産品・伝統工芸を強くするデザインとブランディング』

1983 年にオケクラフトが誕生して 40 年。これからのオケクラフトを考える機会として記念講演会を開催します。多くの方々の参加をお待ちしています。

日時：令和５年１０月２０日（金）
午後６時３０分～午後８時
場所：置戸町中央公民館　講堂
講師：下川 一哉氏（デザインプロデューサー／エディター　意と匠研究所代表取締役）
杉江 あこ氏（エディター／ライター・意と匠研究所取締役）